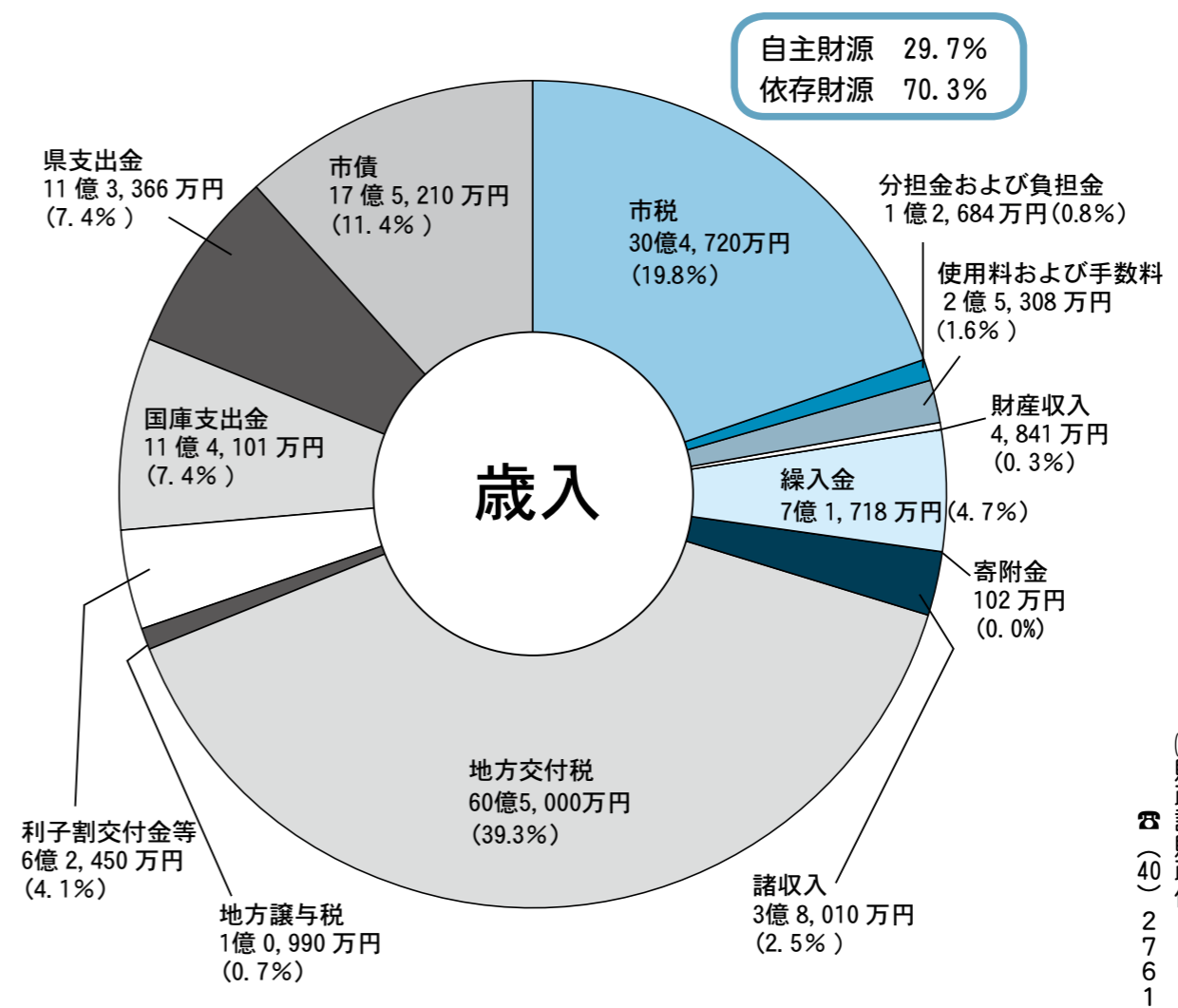
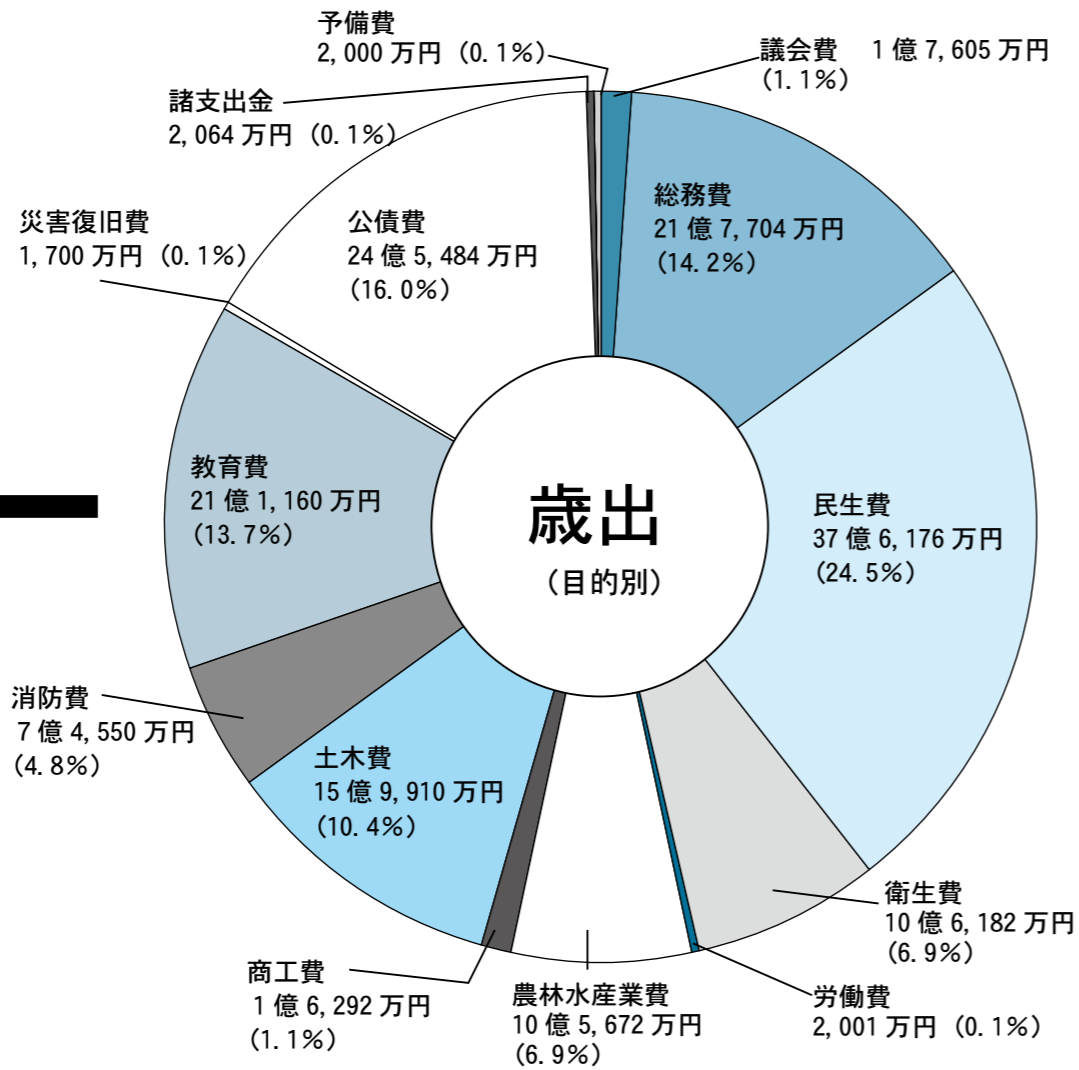


一般会計歳入・歳出の総額 153億8500万円

◎平成20年度 江田島市当初予算決まる
選択と集中を徹底 将来に備えた予算に



自主財源 29.7%
 依存財源 70.3%

(問) 財政課 財政係
 2761

性質別に見てみると...

経費の種類	金額 (万円)	割合 (%)
人件費	38億2,326	24.8%
扶助費	13億8,965	9.0%
公債費	24億5,484	15.9%
普通建設事業費	23億6,443	15.4%
災害復旧費	1,700	0.1%
物件費	21億6,559	14.1%
維持補修費	2億1,539	1.4%
補助費等	13億8,281	9.0%
繰出金	14億952	9.2%
投資及び出資金・貸付金	1億4,271	1.0%
積立金	1,980	0.1%

出の削減を図ります。また、平成19年度に引き続き特別職の給料カットを行います。市債の償還金も依然として高水準なため、経常的な経費は抑えました。しかし、学校・住宅建設などの投資的経費を増加したことで、社会資本の整備をしています。歳入では、普通交付税に平成20年度の特別枠として地域

再生対策費が創設されたことから、地方交付税について1億5,000万円の増を見込みました。しかし、市税の落ち込みなど自主財源の確保は難しく、7億円余りの基金取り崩しを予定しています。厳しい財政状況の中、財政健全化に努め、足腰の強い基礎自治体として持続可能な江田島市を構築していきます。

本年度予算では、健全な財政基盤を確立するために抜本的な歳出抑制を行いました。その中でも、総合計画に掲げている都市像の実現に向けて、「将来を担う子どもたちの教育の充実と子育て支援」「市民生活に直結した市民の安全・安心確保対策」「定住・交流対策」など市民生活に関連する次の施策に対し、予算を重点配分しています。①学校教育の充実・強化を図るための教育環境整備や子育て支援センターの設置な

歳出では、江田島市行財政改革実施計画に基づき、職員定数の削減を行うとともに、各種制度の見直しと全庁的な組織や業務内容を見直し、歳

総合計画に基づく 施策の着実な推進

① 次世代育成に向けた事業

② 消防体制やごみ処理体制の強化など、市民の安全・安心や生活環境に配慮した事業

③ 人口減少を食い止めるための定住・交流対策などの事業

「総合計画にもとづく施策の着実な推進」と「持続可能な江田島市実現に向けた行財政改革実施計画の促進」の2つを柱に、平成20年度の当初予算が、3月定例議会で議決されました。限られた財源の中で創意工夫して「選択と集中」を徹底し、財政健全化に努め、厳しい財政状況の中でも将来に備えた予算編成としていきます。その結果、一般会計の予算額は153億8,500万円、前年度と比べて3億5,800万円、2.3%の減となりました。